

県内百貨店・主要小売店7月実績

●百貨店	売上高		客数
岐阜高島屋	▲8.0		6.1
●小売店	売上高		客数
	全店	既存店	
バロー	6.9	4.7	0.1
Vドラッグ	8.2	7.1	2.7
ホームセンターバロー	6.0	3.4	▲2.0
セリア	3.7	0	1.5
ヒマラヤ	0.8	3.1	0.8

※数字は前年同月比の増減率。▲はマイナス。Vドラッグは中部薬品など3社の合計。ホームセンターバローはホームセンターバローなど3社の合計

県内に拠点を置く百貨店・主要小売店の7月上高実績（速報値、小売店は全店売上高）は、各社とも集客に力を入れ、6社のうち5社が前年同月を上回った。

岐阜高島屋は、オンライン販売の会計方式の変更で前年割れが続くが、集客そのものは順調。紳士服はカジュアル衣料が好調を維持、婦人服は夏物衣料がけん引した。食料品は前年超えだった。

セリアは猛暑の影響で保冷



百貨店小売店 5社が前年上回る
7月の売上高

バッグや保冷剤の需要が伸びた。天候面などマイナス要素がなく、客数も伸び、既存店の売上高も前年並みだった。

バローは仕入れ価格が上昇した食品の小売価格への転嫁が進み、全店売上高は大幅に伸長。客数も回復した。Vドラッグは美白化粧品や日焼け止めなど夏物が順調。ホームセンターは農業用資材やエアコンが大きく伸びたが、アウトドア用品は不振だった。

ヒマラヤは夏物衣料や一般スポーツ、レジャー用品が好調。猛暑でゴルフ関連が低調だった。需要が一巡したキャンプ用品は在庫調整が続く。